

2025年9月18日

「ゼミの武蔵」の高大連携

武蔵大学と和光国際高等学校が 高大接続・高大連携に関する協定を締結

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋德行）と、和光国際高等学校（埼玉県和光市／校長 堀 尚人）は、高大接続・高大連携に関する協定を締結しました。

協定の目的は、相互の連携により学校教育の充実及び発展、人材育成等に寄与することです。

9月3日、武蔵大学で行われた締結式では、和光国際高等学校の堀 尚人校長と本学 高橋德行学長が協定書に署名し、今後の高大接続・連携に向けて意見交換が行われました。

和光国際高等学校との協定に基づく連携事項

主な連携内容は次の通りです。

- （１）教育・研究に関すること
- （２）「総合的な探究の時間」や「ゼミナール」等における学習支援に関すること
- （３）授業、実習及び入学者選抜等の高大接続・高大連携の円滑な推進に関すること
- （４）教育・研究、進路についての情報交換、交流等に関すること

「ゼミを根幹に伝統の教育を進化させ、グローバルリーダーを育む」ことを目指す武蔵大学と「国際社会で必要とされるグローバルリーダーの育成」を目指す和光国際高等学校との親和性は高いと考えています。本連携事業を通じて、武蔵大学が持つ「総合知」と「専門知」を提供し、「探究」の学びを深めるとともに、高校生ひとりひとりのキャリア形成や将来の有意な人材育成に資するよう連携強化を目指します。



<締結式の様子>



<(左から) 武蔵大学高橋学長、
和光国際高等学校堀校長>



<(左から) 武蔵大学古瀬学長補佐兼アド
ミッションセンター長、武蔵大学高橋学
長、和光国際高等学校堀校長、和光国際高
等学校高辻教頭>

和光国際高等学校 公立高校としては全国初の国際高校として開校

〔アクセス：東武東上線「和光市駅」から徒歩 17 分〕

和光国際高等学校は、1987 年に公立高校としては全国初の国際高校として、埼玉県和光市に開校した。開校当初は普通科、外国語科、情報処理科の 3 学科を設置し、国際化・情報化という時代の変化に対応した特色ある学びを実践してきた。平成 16 年には文部科学省より「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」の指定を受けるなど、現在に至るまで国際教育の中核を担う学校としての役割を果たしている。令和 8 年度には同市内にある和光高等学校と統合し、新校「和光国際高等学校」となる。新たに国際科を設置し、「国際感覚を身に付け、国内外で活躍できる人間の育成」を目指す学校として、引き続き社会のニーズに応えていく。

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩 6 分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年 4 月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開校され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から 4 年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012 年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開校、キャンパス内留学の拠点とした。

2020 年 3 月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022 年 4 月、学園創立 100 周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開校し、経済、人文、社会、国際教養の 4 学部 9 学科となった。

2027 年 4 月には、データサイエンス系の新専攻として社会学部に「情報社会デザイン専攻」、国際教養学部「ビジネスデータサイエンス専攻」の設置を予定している。

建学の三理想

1. 東西文化融合のわが民族理想を遂行し得べき人物
2. 世界に雄飛するにたえる人物
3. 自ら調べ自ら考える力ある人物

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 担当:増田・五月女（ますだ・そうとめ）

TEL:03-5984-3813 E-mail:pubg-r@sec.musashi.ac.jp